

参列者は寺師睦宗、蒲原宏、小石秀夫、小曾戸洋、宗田一、石原理年、芝哲夫、高島文一、土屋伊磋雄、渡辺武、安井広迪、岡村純、棟近美代師、永富家子孫の中嶋哲夫、心太郎、北出綾子、井上喜郎・幸子、以下五十三名出席

一、本堂及び墓前にて法要 導師 磯田芳竜
二、本堂にて 司会 岡村芳樹

住職挨拶

経過報告

記念講演

小曾戸洋先生 「独嘯庵の遺墨について」

小石秀夫先生 「独嘯庵と小石元俊について」

寺師睦宗先生 「国手独嘯庵の人となりと業績について」

三、懇親会

永富家代表挨拶と子孫紹介、九代目子孫 中嶋哲夫

医史学会理事長蒲原宏先生以下順次挨拶

⑥独嘯庵顕彰会の今後の事業計画について

一、今後の年忌法要 一九九五年平成七年三月二百二十年祭
二〇一五年 二百五十年祭

二、蔵書庵に「独嘯庵文庫」設立（独嘯庵関係の文書を集める）

三、富士川游先生著『訳解漫遊雑記』の校訂復刻

四、東洋、良筑、独嘯庵とその弟子の子孫の調査

終りに、御後援頂きました医史学会の蒲原宏先生を始め、

皆様方に心から御礼申し上げます。

（独嘯庵顕彰会事務局 岡村 芳樹）

関西支部長に山中太木氏

日本医史学会関西支部では平成五年六月二十七日、京都府立医大での平成五年春季大会において、平成四年八月、藤野恒三郎支部長死去のあと空席となっていた支部長に山中太木氏（日本医史学会名誉会員）に、就任いただくことに決定し、同支部長よりご挨拶があった。なお事務局は従前どおりである。

日本医史学会関西支部（平成五）年春季大会

共催 京都医学史研究会

とき 一九九三年六月二十七日（日）午前九時半から

ところ 京都府立医科大学附属図書館ホール

（京都市上京区河原町通広小路西入）

開会のことば……………長門谷洋治

一、ハーヴェイとグリソン……………栗本 宗治（西 宮 市）

二、稻生恒軒・若水の墓誌銘について……………

……………杉立 義一（京 都 市）

三、医学講説人 饗庭東庵の事蹟……………

——饗庭家遺教素問難経記の研究……………

……………長野 仁（明治鍼灸大学）

四、Max Fieldigと脚気病因論……………

-安田 純一(西 宮 市)
- 五、永富独嘯庵著書の書誌……宗田 一(京 都 市)
- 六、「処士独嘯庵墓」再建についての経過報告
.....岡村 芳樹(大 阪 市)
- 七、一七世紀オランダ絵画の中の萎黄病
.....石田 純郎(新見女子短大)
- 八、五十二病方に見られる治療法
.....山本 徳子(横 浜 市 大)
- 九、海上随鷗の京都の塾について
.....森 納(鳥 取 県)
- 一〇、芸備島嶼部の医学史……江川 義雄(廿日市市)
- 一一、小児体温計の供覧……岩治 勇一(大 野 市)
- 一二、絵葉書にみる実費診療所 寺畑 喜朔(金 沢 医 大)
- 一三、第三高等中学校医学部における精神病学の講義
.....正橋 剛二(呉羽神経
.....サナトリウム)
- 一四、マンスフェルト口授緒方洪哉弁訳
.....「内科察病三法」について
.....中山 沃(西 宮 市)
- 一五、エルメレンス碑建立の事情と保存について
.....松田 武(京 都 市)
- 一六、耳飾りの流行と医学……貝塚 恍(大 津 市)
- 一七、明治期茸中毒史と猪子吉人
.....奥沢 康正(京 都 市)
.....藤田 俊夫(京 都 市)

- 一六、渡部鼎の父、思齋……石原 理年(京 都 大 学)
- 一六、京都府立医学校図書館保管ラベルのある
蔵書について……三宅 宗純(京 都 市)
- 「三木先生を偲んで」
山中太木・宗田 一・長田岳士・三木 謙

特別講演「人体解剖のルネサンス」

大阪大学名誉教授 藤田 尚男

閉会のことば……杉立 義一

(長門谷洋治)

例会抄録

長山泰政——戦前に院外治療を提唱した精神科医——

岡 田 靖 雄

長山泰政(一八九三・一一・四—一九八六・一一・六)は、主として大阪府立中宮病院ではたらいっていた精神科医である。このたびわたしたちの精神科医療史研究会が中心になって長山泰政先生著作集を編集しているので、長山の生涯を概観し、またその業績の歴史的な位置づけをこころみたい。

わが国における精神科作業治療の紹介は緒方洪庵『扶氏經験遺訓』にはじまる。ヨンケル、ローレルもその重要性を強調し、一九〇〇年までも作業治療の散発的試みはされてい